

INFORMATION & OTHERS

SUGO 名物お立ち台の選手紹介が復活します!!

暑かった8月のSUGOからすっかり秋の気配となったSUGOへ。紅葉はまだ少し早いですが、名物の芋煮が恋しい季節になってきました。たった1ヶ月のインターバルですが、すごく長く感じるのはやはりレース数が少ないせいでしょうか。たった4戦のシーズンですが、なんとか全うできる

が復活します。ただし観客のみなさんは密にならないように隣と間隔を開けてくださいとのこと。マスク着用はもちろん大声で頑張れと言いたい気持ちを抑えて、拍手でライダーを見送ってください。

レース中は、掘り返されボコボコだった路面が走行に連れてどんどん堅く締まってギャップとワダチが増えていく。でもその変化こそがオフロードの醍醐味です。ライダーによってアプローチの仕方が異なり、トップライダーたちがその変化にどう対応していくか、目をこらして注目してみてください。

一か所に陣取って見るのもいいですが、スタート前のライダーの表情を見たり、ジャンプ、コーナーとポイント変えながら観戦するのも楽しいです。コースサイドを1周して、1番面白そうな観戦ポイントを見つけてください。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、IA1は白地に黒文字。逆に黒字に白がIA2、青地に白がIB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の山本選手とIA2の横山選手だけが赤地のゼッケンを付けているハズ。これはレッドプレートと言ってポイントランキングトップの証。開幕戦では前年度のチャンピオンが赤ゼッケンを付けていたので、山本、横山両選手はこ

れをキープしたことになります。この栄光のプレートの取り合いにも注目してみてください。

今年は全4戦と例年の半分になってしまったシリーズ戦。ライダーが目指すのはもちろんシリーズチャンピオンですが、トップライダーたちはヒート毎の成績にスポンサーと賞金契約を結んでいるので、まずは目の前の順位が重要です。そうじゃないセミプロライダーはどうなのと言え、そこはやっぱり自己ベストやワークス勢に割って入ることを目標にしているので、スタートからチェッカーまで、やはり全力で走ります。IBのライダーだったら昇格や次のシーズンの体制にも影響するので、こちらもやはり必死なわけですね。

レース中の途中経過は、上位だったらコントロールラインの電光掲示板に表示されますが、予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。公式プログラムのエントリーリストとライダーのゼッケンとマシンの色を照らし合わせると徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ずーっとレースを見続けているとさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、出店や展示ブースは必見です。応援フラッグやポスターは、今回は手渡しではなくテイクアウトになるとのこと。ソーシャルディスタンスを保ちつつ、パドック散策を楽しんでください。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特製のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ

必ず対応してもらえます。

走り終わって砂まみれになったマシンをあっと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。ワークスやサテライトのトップチームはスタート後方の通路を進んだ先に展開しています。例年ならマシンの仕様も仕上がっている時期ですが、今年はまだ2戦目。どのチームもコースコンディションに合わせた作り込みに余念がないハズです。

メーカーの威信を背負うライダーたちももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも一見の価値があります。ライダーのコスチュームにも注目。ちょうど新型がリリースされる時期。派手なデザインばかりに目が行ってしまいがちですが、転倒などアクシデントが多い競技なので、危険な競技だけに安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアの中に着けている器具なんかもぜひご覧になってください。

そんなことがあったの？MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやってます。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。シーズンオフも様々な情報を配信します。みなさんぜひご登録ください。

編集後記

今年はコロナで中止になってしまいましたが、本当なら国別対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズが先週行われていたハズなんですよ。当初の予定だと舞台はフランス。この先一体いつから自由に渡航できるようになるのか。ニュースを見ると少しずつ移動制限が緩和される方向のようですが、来年は行けるのかなあ。

東京オリンピックが無事開催できて、日本代表がネイションズに出場できるようです。来年の会場はイタリア。代表には誰が選ばれるのだろう。とにかくコロナが早く収束しますように。…なんてそんな先のことを考える場合じゃないですね。そうだと日本、次は九州熊本です!! MXING & MC Square 木田 淑



連覇に向けてパーフェクトなシーズンスタートを決めたディフェンディングチャンピオン#400山本。シリーズ初となる3ヒート制をどう乗り切るか。新たなヒーローの誕生にも期待が高まる!! Photo/K.Kida

新型コロナウイルス感染拡大の影響で変則スケジュールとなった今シーズンのMFJ全日本モトクロス選手権。シリーズ第3戦は10月3~4日に開幕戦と同じ宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGO国際モトクロスコースで開催される。ディフェンディングチャンピオン山本 鯨が強さを見せつけたIA1クラスは、今回初の3ヒート制を採用。新フォーマットで勝利を手にするのは果たして誰か。短期決戦の未体験バトルに注目が集まる!!

王者山本を止めるのは誰だ? 初採用のトリプルヒートに注目!

約1ヶ月前にここSUGOで行われた開幕戦。誰もが待ちわびたレースで圧倒的な強さを見せたのがディフェンディングチャンピオン山本 鯨(#400/ホンダ)。その山本をマークして2位のポジションを分け合ったのがIA1クラスにスイッチしたばかりの能塚智寛(#555/ホンダ)と渡辺祐介(#110/ヤマハ)。山本もそうだが能塚、渡辺も海外で実力を磨いたライダー。能塚と渡辺はIA昇格も同期で共に20代前半。新勢力がトップ争いに名乗りを上げる結果となった。その一方で、今シーズン限りでの現役引退を表明した絶対王者成田 亮(#982/ホンダ)は開幕戦で苦戦を強いられた。今回IA1クラスにのみ採用された15分+1周×3ヒート制というスーパーバースプリントレースで成田が息を吹き返すのか。あるいは新たなヒーローが生まれるのか。激しいバトルが予想される未体験のレースに興味は尽きない。

全4戦となった今シーズン。1勝の重みは今までになく大きく、誰もがそのチャンスを狙っている。中でもカワサキワークスの小方 誠(#10)やヤマハワークスに移籍した富田俊樹(#317)も勝利に執念を燃やす。サテライトチームから参戦する小島庸平(#44/ホンダ)、大塚豪太(#155/ホンダ)や星野優位(#166/ヤマハ)も十分に勝てる力をもつライダーたちだ。

ゼッケン1を付けた横山に挑む内田、大倉、小川…+ルーキーたち

昨シーズン、アメリカ仕込みのアグレッシブなライディングでIA2クラスを制した横山遯希(#1)は今季カワサキワークスに加入。このクラスでは唯一のファクトリーマシンで連覇を目指す。開幕戦、苦戦を強いられながらも総合優勝を飾った横山に対し、その座を奪おうとするのが昨シーズン横山を上回るシーズン5勝をマークした大倉由揮(#31/ヤマハ)や開幕戦でクラス初優勝を飾った内田篤基(#39/スズキ)。怪我から復帰した大城魁之輔(#36/ホンダ)や小川孝平(#912/カワサキ)。九州から遠征してきた石浦諒(#954/ホンダ)も十分優勝を狙え

制作・発行/MC Square 木田 淑 千970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62 Tel. & Fax. 050-1536-5147 E-mail: kida@mxing.com HP:http://www.mxing.com

出力・印刷/東京カラー印刷株式会社 千120-0024 東京都足立区千住開屋町5-27 Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174 HP:http://www.topc.co.jp 全日本モトクロス選手権大会発行・無料

PREVIEW-Sports Land SUGO

マナーを守って楽しく観戦しよう!
1.入場時には検温と体調チェックに協力を
2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

るライダーの一人だ。ルーキーではヤマハの育成チームに抜擢された中島 激也(#01)、同じくヤマハの袴田哲弥(#02)らの元気な走りにも注目したい。中島は18歳、袴田は17歳。このクラスには他にも川上龍司(#40/ヤマハ)や西條悠人(#47/カワサキ)など十代の選手が10名以上エントリーしている。若さを前面に出した元気なバトルに期待が高まる。

逆転で開幕優勝を飾った川井エース本田の巻き返しはなるか!!

開幕戦、チャンピオン本田七海(#1/ヤマハ)とこれまで幾度も2位に甘んじてきた川井麻央(#3/ホンダ)の一騎打ちは、スタートで先行した本田を1周目にパスした川井が逆転で3年ぶりとなる優勝を果たす。短期決戦のタイトル争いで川井が主導権を握るのか、それとも本田が巻き返すのか。またハスクバーナを駆る久保まな(#4)がここに割って入ることが出来るか、レディスの熱い戦いに注目して欲しい。

2020 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール			
第1戦	SUGO大会	8月29~30日	宮城県/スポーツランドSUGO
第2戦	近畿大会	中止	奈良県/名阪スポーツランド
第3戦	SUGO大会	10月3~4日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	中止	10月30~11月1日	
第5戦	MFJ-GP	11月14~15日	熊本県/HSR九州
第6戦	関東大会	11月28~29日	埼玉県/オフロードヴィレッジ

全日本モトクロス選手権 第3戦 SUGO大会 開催おめでとうございます。

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。

頑張れの気持ちを伝えよう!
コロナ渦の応援スタイルを考える
大音を出したり腕を振ったりしてはいけないレース観戦。最初はどんな雰囲気になるのか正直不安でした。でも開幕戦のSUGO大会はどのクラスの観戦にも十分盛り上がるのがオフファンと呼ばれるスタッフさんのそんなレースに立ち上るライターの関係者がレースで路面の掘り返しに使うトラックが故障し、開幕戦のSUGOはいつもと違うコンディションでスタートした。それはそれで大丈夫か?でもコンディションは変わりますが、オフファンさんにも頑張ってくださいね。

スモールマウスの聖地 裏磐梯 檜原湖
バス釣り&ワカサギ釣り
いつもの虬 ふじもと
福島出身国際A級 藤本正勝がやってま〜す!!
ワカサギドーム・屋形 利用料金 大人 3000円 子供 2000円
ご予約・お問い合わせ Tel.080-3097-5575

Arai HELMET
安全性能の追求!
株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL (048) 641-3825
http://www.arai.co.jp/

IRIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

Technix suspension service
WWW.technix.jp